

好きなこと・得意なことから始めるまちづくり

和歌山大学 観光学部 3年
27131094 藤井優希

地域協働演習A

地域資源を生かした生業づくりとまちづくり(九度山町)

調査

「地域課題の解決に向けた提案」を班で考えるために、まずは九度山町の現状について調べた。新型コロナウイルス感染症の影響で現地に赴くことができなかったが、ネット上の情報から調査を行った。

アイデア考案

柿などの特産品があり主要産業である「農業の後継者不足」という地域課題の解決に向けた提案として、2つの対象とそれぞれ取組を考えた。

- ①外国人向け：農泊
- ②若者向け：農業体験インターン

発表

プロジェクトの報告会にて発表を行った。実現可能性の観点から、どの地域であれば地域外の人を受け入れる活動がしやすそうか等の地域の詳細情報を知ることの必要性等を学んだ。

地域協働演習B・C

駅前市街地のあり方を考える(阪南市)

フィールドワーク

計2回のフィールドワークを実施した。1回目は阪南市や尾崎駅周辺の現状や地域資源について把握することを目的としたまちあるきを実施し、2回目は今回作成したマップ(右画像)に掲載した尾崎駅から鳥取ノ荘駅までのまちあるきを実施した。

アイデア考案

1回目のフィールドワークを通して、阪南市は、都会と自然が融合しており、海と山が近いことによるまちの変化が大い点特徴的であると感じた。さらに、コロナ禍の運動不足もあり、「ウォーキングマップ作り」を行うことにした。

市役所でのプレゼン

阪南市都市整備課の方々に作成したウォーキングマップについてのプレゼンを行った。地域外の学生だけでは気づけなかった細かな情報の間違い等についてご指摘をいただいた。



モデルコースについて	
距離	2.5km
所要目安時間	35分
START	尾崎駅
↓	220m(3分)
①尾崎神社	330m(5分)
↓	300m(3分)
②たぬきの置物	350m(5分)
↓	510m(7分)
③鳥取ノ荘	340m(5分)
↓	550m(7分)
GOAL	鳥取ノ荘駅

地域協働演習Adv.

コロナ後の新たな働き方を考える(泉佐野市)

泉佐野駅周辺(特に「さの町場」と呼ばれる町家などが残る旧市街のエリア)の活性化に向けてリノベーションまちづくりを推進している『バリュー・リノベーションズ・さの』にてインターンシップを行った。

フィールドワーク

泉佐野市内の複数のお店を訪れ、商品の売り方等について伺った。特産品の泉州タオルをケーキ等に見立てたギフト(左画像)を販売している事例が特に印象に残った。



講演会

泉佐野等で起業された5名の講演を聞き、起業に至った経緯や事業内容等について教えていただいた。自分事として考えられることや好きなことから起業したことが共通していた。

マルシェ出店

柑橘クイズと、和歌山と愛媛のみかんのテイस्टینگという企画内容で出店した。自分が好きなことや得意なことからの発想や、サービス商品の価格設定等初めての経験も多く、大変だと感じた。しかし、お客さんにも好評で満足いただくことができ、やりがいを感じた。



学んだこと

起業という働き方について考えることがこのインターンシップにおけるテーマの1つだった。地域課題解決のためにアイデアを考えることは重要だ。しかし、自分ができることや好きなことから、したいことを考え、その実践の中で地域課題との関わりを考えることも大切であると学んだ。発想法や地域課題との関わり方等、今回得た学びを今後の仕事や生活面で活かしたい。